

伊万里

Imari

広報 **1** NO.527
1998
(平成10年)



建設中の伊万里湾大橋

福寿繫文皿

鍋島様式・1680年代
高さ8.4口径29.7底径16.2cm



今月の主な内容	パブリックインフォメーション…… 3
	今年は寅年です……… 4
	市民記者レポート……… 6
	みんなの広場……… 8
	ほがらかページ……… 10
	今月のレシピ……… 11
	教育と文化……… 12
	スポーツ……… 13
	くらしのチャンネル……… 14
	お便り……… 16

個性豊かで活力のある地域社会の実現を

伊万里市長 川本 明

新年、明けましておめでとうございます。

昨年は、市民の皆様並びに関係機関のご支援、ご協力により、地域振興および市民福祉の向上に多大の成果を収めることができ、節目となる平成10年もさらなる前進が期待されます。

伊万里湾開発については、伊万里港コンテナターミナルが完成して、韓国・釜山港との間にコンテナ船の定期航路が開設され、国際交易基地への夢がさらに大きく膨らんでいます。

西九州自動車道は、唐津・伊万里道路が設計協議の段階にあり早期開通が待たれるとともに、長崎自動車道へのアクセスとなる松浦バイパスは、本年4月に下平く宿分間が開通予定であり、平成11年度の完成へ向けてさらに弾みがつきます。

市街地の開発については、南北道路が都市計画決定を受けましたので、本年から調査設計に着手する予定であり、中心商店街の振興につなげたいと思います。

農業面では、国営総合農地開発事業の面的整備が本年度で完了することになり、新規作物の導入や施設化等により農業経営の安定向上に務めます。

水資源対策については、井手口川ダムが建設事業採択を受けましたので、本年はダム本体の概略設計に着手し、第3工業用水道の都川内ダムもいよいよ本年から本體工事が始まります。

ファミリパークは建設予定地を黒川町とし、家族が自然の中で一日ゆっくり憩える公園を目指して取り組みます。

このように、施策の各分野でこれまでの努力が今まさに実を結ぼうとしておりますが、今日の社会経済情勢は、戦後日本の発展を支えてきた経済システムが破たんし、少子高齢化や高度情報化、環境問題等の地球規模での広がりなど社会環境の変化に伴う新たな課題も生じており、本市においては21世紀社会に的確に対応できる施策を構築するため、新しい伊万里市総合計画を策定することにしています。

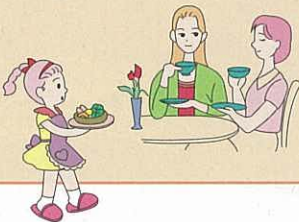
個性豊かで活力のある地域社会を築くため、原点にかえって「市民が主役の市政」を基本に、本年も市政運営に全力を尽くす決意です。どうか、ご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様にとって幸多い一年となりますことをご祈念申し上げます、新年のごあいさついたします。

あなたとわたしの生活展

深刻な地球環境の悪化や、はんらんする情報…。これからの家庭や社会のなかで「安全で安心な暮らし」を送るために、あなたの暮らしを、もう一度振り返ってみませんか？

そのヒントを『あなたとわたしの生活展』で見つけてください。多数の皆さんのおいでをお待ちしています。

- 日時 1月31日～2月1日
午前10時～午後7時
(1日は午後5時までです)
- 会場 伊万里玉屋4階催場
- 内容
 - ①暮らしのチェックコーナー
 - ②食の安全を考えるコーナー
 - ③環境を考えるコーナー
 - ④貯蓄推進コーナー
 ※洗剤不要のアクリルたわしの編み方講習もあります。
- 問合先 市民相談室
(☎2111内線226)



直売所・松浦の里

- 日時 1月24日(土)
午前10時～午後4時
 - 会場 市民センター
 - 主催 農業シンポジウム実行委員会(農協、消費者、農業団体、市)
 - 対象 市民500人
- 昼食は「とてもうまい伊万里の米」を使った弁当を用意します。参加希望者はお申し込みください。整理券を発行します。

- 申込先 市農林水産課
(☎2111内線377)
- 内容
 - 午前部
 - ▽基調講演 「21世紀農業は花形産業」
東京大学名誉教授 今村奈良臣さん
 - ▽事例発表
南波多町農業振興協議会
 - 午後部
 - ▽パネルディスカッション
(株)博報堂客員スタッフ 平岡 豊さん
(株)福田農場ワイナリー 福田 興次さん
JA小林地区理事 加藤エミ子さん
佐賀生活協同組合連合会理事 川副 知子さん
佐賀大学助教 長 安六さん
伊万里市農家代表 J A組合長 さまんじゅう、みそ、エビのみそ漬など物産展も開催します。

よかとこ伊万里の夢・創造・飛躍 農業・農村活性化シンポジウム

今、農業・農村は、大きく変わろうとしています。農業は食料提供だけでなく、環境保全や保健休養など多くの機能を持ち、またその役割に対する期待も高まっています。このため、生産者と消費者が共に問題点を探り、夢と活力のある21世紀の伊万里市農業を考える『明日を築く農業・農村活性化シンポジウム』を開きます。ご来場ください。

伊万里湾大橋

表紙の説明

山代町久原と瀬戸町の牧島山をむすぶ伊万里湾大橋。少しずつ姿が見えてきました。伊万里湾の東西両側に分散している港湾機能を一体化する目的で、運輸省が建設しています。九州最大のアーチ橋で、アーチ部分の橋脚間は250m、海面から最上部までの高さは50mになります。平成12年度に暫定2車線で開通予定。開通に合わせてライトアップも計画中で、伊万里の新しい名所としても期待されています。



完成予想図

- ・長さ 651 m (うち海上部 420 m)
- ・幅員 全幅 21.3 m (車道 3.25 m × 4 自転車・歩道 2.5 m × 2)

今年寅年です

あけましておめでとーうーゼーんます



虎まわし
大川町に伝わるお盆の催して、家々の前で花火とともに虎や竜が舞う行事です。
(写真は太川町井手回の子どもたち)

寅は干支の3番目

今年寅年。寅(虎)は干支の3番目、食肉目ネコ科の動物です。ライオンが「アフリカの百獣の王」なら、虎は「アジアの百獣の王」です。中国大陸、朝鮮半島、東南アジアなど、温帯から熱帯地方にかけて広く生息していますが、日本列島には野性の虎はいません。

ことわざに登場する虎

日本の文献に初めて登場したのは「日本書紀」です。このなかに、百済で虎退治をして皮を日本に持ち帰った人がいるという話が記されています。生きた虎が日本に来たのは寛平2年(890年)といわれ、その後江戸時代には、虎は見せ物として江戸、大阪などを回っていたようです。

多くの人が虎を見られるようになったのは、動物園が普及するようになってからです。しか

し、虎はことわざなどによく登場し昔から親しまれています。だれでも知っている「虎の子」

は、大切なもの、秘蔵のものということです。「虎穴に入らずんば虎子を得ず」も虎の子が貴重なものという意味から危険を冒さなければ(虎の住んでいる穴に入らなければ)成功は得られないということです。「虎刈り」は、丸刈りがはやらなくなつたので、最近あまり見かけません。「虎の巻」は、もともとは兵法の秘伝を記した書物のこと。以前は、学生さんなどが参考書などをこう呼んだものですが、最近はこの言葉もはやらなくなりました。

また、虎は強いもの、恐ろしいものたえにもよく使われています。「虎視眈々」「虎の威を借る狐」「虎の尾を踏む」などたくさんあります。

いずれにしても、今年虎のように、威勢よく頑張りたいものです。



将来は看護婦さんになりたい

波多津町浦 塚部ひろみさん
(昭和61年生まれ)



ひろみさんは、7人家族で3人姉妹の末っ子です。現在は波多津小学校の6年生で、4月から中学生になります。

「波多津中学校に入学すると、波多津小と波多津東小出身の児童がいつしよに通うようになり

ます。新しいお友達をたくさんつくろうと思います。また、2人のお姉さんは、中学校と高校の部活でソフトボールをしているので、わたしも中学生になればやりたいと思っています。また、大きくなったら、病気やけ

がで困っている人を手助けする看護婦さんになりたいです。そのためにも、お勉強をしつかりしたいと思います。4月から中学生になりますが、自分でできる身の回りのことは自分でします」

こだわりと特徴のある店に

栄町 岸川 兵馬さん
(昭和13年生まれ)



兵馬さんは、銀天街アーケード内で家具店を営み、商店組合の役員も務めています。「商店街は郊外店や大型量販店に押されています。今後の商店街を考えた場合、①まちの再開発②商業と観光をマッチさせたまちづ

くりが浮かんできます。いずれも商店街と行政、地域住民がいつしよとなって取り組む問題です。アーケードや白壁土蔵の活用法のほか、アジアの輸入品や地場産品を扱う物産施設を中心に各個店がこだわりを持ち、ここだけという特徴を出せば郊外店や量販店に対抗できると思っています。まず昨年から食鮮市を始めました。また、市営駐車場を最初の1時間でも無料にできたらと考えています」



失敗を恐れずに梨づくり

南波多町重橋 井本 寿喜さん
(昭和49年生まれ)



寿喜さんは、農業大学校を卒業後すぐに就農し、現在3年目になります。両親と3人で、梨170畝、ブドウ12畝に取り組んでいます。市内の農業青年で構成する4日クラブの副会長として、若い農業者同士の研修や

スポーツ交流などの活動を行っています。

「昨年の梨は豊作でしたが、価格が安く満足できるものではありませんでした。来年は、高く売れるような梨を作りたいと思います。そのためには、栽培技術の向上と成長に応じた栽培管理を心がけたいです。それに、今年は親まかせでなく、失敗を恐れず自分の考えで梨作りに挑戦してみたい。個人的には、彼女もほしいと思っています」

家族の健康を願っています

山代町楠久 山崎 弘子さん
(昭和37年生まれ)



弘子さんは5人家族で、ご主人さんに小学5年、4年、1年生の3人の子どもがいます。「子どもが幼いので、生活は子どもを中心となっています。成長する姿を見るのが楽しみです。これからも伸び伸びと育つように

と願っています。おかげさまで3人の子どもは、大きな病気やけがもせず健康そのものです。10月から4年生の長男がサッカーを始め、熱心に取り組んでいます。また、次男もサッカーに興味を持っているようです。

今年、家族旅行をしたいと考えています。もちろん行き先は子どもが喜ぶ動物園や遊園地になるでしょう。今年も家族が健康で過ごせませうにいつも願っています」

市民記者レポート①

レポーター：永瀬 慎太郎さん

このコーナーは、公募により決定した市民記者が自主取材したものです。

やわごころまちづくりをめぐって

共に支え合い、助け合う地域社会をつくろう

私は、学生の時、伊万里商業JRC執行団で活動をしてきた一人でした。高校を卒業するときは、ボランティア活動を生涯続けたいと心に決めていましたが、いつからか恥ずかしいことですが、遠のいていました。

最近「ふれあいのまちづくり事業」を耳にした私は、人と人がふれあひ交流するといった、ごくあたりまえのようなことが国の事業活動として推進される社会は、非常に貧しいものだと感じました。そこで今回、人と人のふれあひや助け合い、そんなことが自然な社会であるためにはどうすればいいのかを今一度追及したくて取材してみました。

田内 そのとおりだと思います。ボランティアという助け合いとは、昔は家庭事情まで踏み込んだものでしたが、最近では、あまりにもおせっかいですくないことが大切ですね。

永瀬 相手の気持ちを十分考えて行動しないと善意が裏目変わることもありそうですね。

田内 阪神・淡路大震災や重油流出事故などでボランティアという言葉がよく取り上げられましたが、どう思いますか。

田内 大震災の時、何かお手伝いをしたい人は、おおせいらいらっしゃったのですが、核になる人がいないと何をしていたかわからない様子でした。こういった状況は、ふだんのボランティア活動でもいえることです。

多忙な中でのボランティア

永瀬 仕事や人づきあいなど、自分のことで精一杯なのにボランティアなんて無理だという人は少なくないように思いますが、これでいいのでしょうか。

田内 自分のことが100%できてボランティアもしている人はほとんどいないでしょう。自分のこともある程度こなせて無理をしない程度に周りのことも考えられるという気持ちが大切だと思います。

よく「ボランティアをする人は、時間とお金があつていいね」と思っている人がいますが、決してボランティアはそういうものではないと思います。松尾 週に何回と計画を立てるのではなく、決して無理をしないことです。

大切なのは心と心のふれあひ

永瀬 さて、私たちがボランティアで大切なことは、何でしょう。

松尾 どんな活動でも大切なことは心です。人に強制されてするものではありません。自らすすんで、する人や行為に自分の心をつくつてくれることが大切だと思います。

永瀬 まさにそれこそが人と人とのふれあひですね。

田内 今のボランティアは、昔の奉仕と違うことは確かです。ボランティアは、してあげるものではなく、させていただき、いっしょに何かすることを意味し、双方に得るものがあります。ただ、今日のボランティアは、まだまだしてあげるといふ考え方が多い感じがします。



(柳本さん) (松尾さん) (田内さん) (永瀬さん)

- いまり女性プラザ（福祉・健康部）ベルつ子（代表者） 田内法子さん
- 市社会福祉協議会ボランティアコーディネーター 松尾真弓さん
- 市社会福祉協議会事務局次長 柳本満晴さん

ふれあいのまちづくり事業とは

永瀬 今年の7月から伊万里市は、厚生省指定事業として「ふれあいのまちづくり事業」に取り組まれているようですが、どういった活動ですか。

柳本 簡単に説明すると、住民相互が助け合い、交流の輪を広げることで、支え合う地域社会をつくることです。

永瀬 まずは、私たち一人ひとりの小さな取り組みや積極的な気持ちが大切ですね。

柳本 そうなんです。

交流を通して自分の役割を探してみよう

永瀬 私たちは「ふれあいのまちづくり事業」に、どう取り組めばいいのでしょうか。

柳本 この事業は人と人のふれあひ、つまりソフト面の充実を目的としたものです。地域社会の「助け合い」「支え合い」といった地区活動を展開することです。そのためには地域のいろいろな企画やイベントなどに参加することによって交流の輪を広げ、地域社会での自分の役割を探してみるといいでしょう。

永瀬 「人と人のふれあひ」この思いが込められた事業にたくさんの人々が目を向けてくれることを願っています。

永瀬 交流の輪を広げることや支え合い、助け合いといった考え方は、いろいろな場面で使われます。ボランティアもその一つだと思いますがいかがですか。

ボランティアと助け合い

永瀬 交流の輪を広げることや支え合い、助け合いといった考え方は、いろいろな場面で使われます。ボランティアもその一つだと思いますがいかがですか。

福祉の社会を目指して

永瀬 まだまだ福祉については、課題が多いように思うのですが、とくにハンディキャップのある人が何不自由なく生活できるまちづくりもこれからの重要な課題だと思います。

田内 車いすは車道を走らなくてはいけないところも多く、見えていて恐ろしいです。

永瀬 ハード、ソフト両面において、社会福祉が充実すればいいですね。

松尾 小さなことから行動する、一人ひとりの意識改革が福祉の未来を明るくすると思います。



伊万里商業高校

JRC執行団を訪ねて

※JRCとは、(Japan Red Cross) 青少年赤十字の略で、さまざまな奉仕活動を企画、参加する団体です。

質問1 ボランティア活動を行うようになったきっかけは、何ですか。



● 中学校の時から活動に参加していたからです。

● 自分の行為が社会に役立つほしいからです。

● 将来、介護福祉の仕事を目指しており、興味をもったからです。

質問2 ボランティアを通して体験などを聞かせてください。

● 施設などを訪問して会話をしているだけでも喜ばれました。

● いろいろな活動によって交流の輪が広がりました。

● 最初は不安でしたが、いざ行動してみるとその不安はかき消されるのだと思いました。

● 会話をすることによって、自分自身もあたたかさを感じました。



質問3 ボランティアという言葉薬を語るとき、なにが大切だと思いますか。

● みんなが声をかけ合って助け合うことが大切です。

● 「してあげる」ことではなく「いっしょにする」といった考え方が大切です。

● どんなにお金を積んでも得ることができない喜びがあると思います。

● 自ら進んで協力し合うことだと思います。

質問4 わたしたちはこれから支え合い、助け合い共に生きる地域社会を目指すにはどうすればいいでしょうか。



● まずは、みんなが声をかけ合って多くの人が行事などに参加して交流することが大切だと思います。

● 学校教育に生涯学習をもっと取り入れるべきだと思います。

● どんな小さなことでもいいから最初のきっかけを見つけていかなければなりません。

● 地域社会の小さな行動が、大きな輪をつくり、自然に、やさしいまちづくりになっていくと思います。



JRC執行団長
中島 晃 さん



ボランティアが存在しない社会を

わたしがJRC活動に参加するきっかけは、友人からのさそいでした。しかし、いろいろな人との出会いのなかで、自分から参加したいという気持ちになりました。活動の中で、行動の大切さを感じる一方、ボランティアを特別なものにとらえている人が多く、残念です。

人と人が手を取り合って生きていくために助け合うことは、当然のことであり、ボランティアという言葉自体が、存在しない社会を目指すべきだと思います。

ただ、今の社会は、心のゆとりがなくなってきました。文化的な活動を通して、お互いの心のゆとりをつくれたらいいと考えています。

みんなの広場

このコーナーでは、あなたの周りの身近な出来事や話題を待っています。市役所広報係へご連絡下さい。
(☎ 2111・内線207)



👉 顔に墨を塗って『つうわたし』（12月14日）

大坪町古賀地区に伝わる『つうわたし』が行われました。この『つうわたし』は、当地区の氏神さま「今岳大権現」の分霊を次の神座の家まで運ぶという行事です。1年間、分霊を預かっている山下喜一郎さんの自宅で、夕方から今年分霊を預かる組の人を招き酒宴が開かれました。そして、その席で分霊を預かる神座や行列役割を「くじ」で決め、代々伝わる衣装をまとうと顔に墨が塗られました。

顔を真っ黒に塗られた人たちは、それぞれの役割に応じて分霊や旗、さい銭箱などを担ぎ、地区内を回りました。



👉 山ノ寺祭りで相撲を奉納（12月1日）

東山代町川内野で、恒例の山ノ寺祭りが行われました。山ノ寺は、約850年前に松浦党祖源四郎大夫直が本拠を構えた所です。ここには豊作をもたらす農業の神様として「山祇神社」があります。当日はたくさんの参拝者の中、滝野小中学校の児童生徒が相撲を奉納しました。

👉 佐賀・伊万里会がイチョウを植樹（11月28日）

佐賀・伊万里会（稲田繁生会長、500人）が、設立10周年を記念して伊万里市へイチョウを贈りました。同会は佐賀市に住む伊万里市出身者や勤務経験者で構成。佐賀市と伊万里市の関係を深めようと、メンバー9人が佐賀市の市木・イチョウを市役所東側の庭園に植樹しました。



👉 もしもに備えて伊万里湾で防災訓練（11月27日）

伊万里湾海上防災訓練が、山代町の伊万里港久原南岸壁と付近海域で行われました。運搬船から重油が流出し船内で火災発生という想定。港湾関係者など100人が参加しました。オイルフェンス設置やヘリコプターによる負傷者の救出、放水などを訓練し、もしもの時に備えました。





📺 お宝続出「なんでも鑑定団」録画 (11月29日)

商工会議所創立50周年記念事業の一つとして、テレビでおなじみの「なんでも鑑定団」の収録が市民会館でありました。焼き物7点が出品され、観客は高値の評価にびっくり。本人の評価額を上回ると女みこしが登場しました。

1月13日(火)午後9時からTVQで放映予定です。

🔥 火の粉が飛び散る「取り追い祭り」(12月2日)

火の粉を浴びながら強飯を奪い合う「取り追い祭り」が、二里町大里の神之原八幡宮で行われました。守るほうが、たいまつを打ちつけ火の粉の雨を降らせると、攻め手がサカキの小枝で火の粉を払いながら「打ちやえんか」と叫んで攻めよります。最後は強飯を奪い見物人に配られました。



🎭 劇団穴の会が「伊万里川」公演 (12月4日)

伊万里の社会人劇団『穴の会(西田カツオ団長、10人)』の第8作目の公演「伊万里川」が、市民センターで開かれました。川岸の旅館を舞台に、トンテントン祭りをからめた人間ドラマ。親子のきずなや故郷への思いなどアマチュアとは思えない演技力で、500人の観客を魅了しました。

👤 人権問題への正しい理解と認識を (12月5日)

県、市、法務局職員など20人が、人権週間(12月4日～10日)にちなみ、商工会館前や駅前でキャンペーンを行いました。勤め帰りの人や買物客などにパンフレットとティッシュの入った袋を配り、人権問題への正しい理解と認識、差別のない明るい社会の実現を呼びかけました。



もちつき大会を12月7日に伊万里公民館で開きました。残念ながら、雨のため「うす」と「きね」は使えず機械でつきましたが、地域の人たちやボランティアなど約80人が集まり、あんこもちやきな粉もちを作って楽しく過ごしました。

おもちゃ図書館「おとぎのくに」を知っていますか。ここは、本を貸し出している普通の図書館ではありません。障害のある子どもたちや地域の子どものために、おもちゃで楽しく遊ぶ場所です。市民センター内にあり、毎週金曜日(第2金曜日を除く)と第2土曜日、午前10時半から午後4時まで開いています。このほかバスハイクやもちつき大会なども行っています。

おもちゃ図書館を知っていますか?



二里町東八谷 松尾 理枝さん

ほがらか ページ

百歳を祝って記念メダル

気丈夫な松本フヨさん

百歳を迎えられた松本フヨさんの長寿を祝い、12月1日に川本市長は山代町久原2区にあるフヨさんの家を訪問し、百寿記念メダルを贈りました。
市内の百歳以上のお年寄りはフヨさんで7人になります。



現在フヨさんは、長男の松本久五郎さん（76歳）と同居し、親子4代の7人家族です。

「8年ほど前、母はボヤを消し止めたことがあったんですよ。気丈夫なんです」と久五郎さん。

縁側にいたフヨさんが、台所の異臭に気づき、行ってみるとすでに天ぷら油から火柱が天井まで上がっていました。はだしで縁から飛び出したフヨさんは、とっさの判断で、近くで仕事をしていた大工さんに助けを求め、無事火を消し止めたそうです。寒くなったせいか最近、昼間は寝ているときが多いとのことですが、自分のことは自分でできるそうです。

久五郎さんは「生きがいのある生涯を送らせたいですね」と話しました。



松浦小学校の児童

昔遊びでお年寄りと交流

お年寄りたちが楽しんだ昔の遊び道具をいっしょに作り交流を深めようと11月6日、松浦小学校で「ふれあい集会」が開かれました。この催しは昨年まで、6年生が作ったもち米の収穫祭としてお年寄りを招き、もちつきやせんざい会をしていました。

今回は、せんざい会に加え「おたつしや教室」で学んでいるお年寄りたちと昔遊びを楽しむことになったものです。児童たちは、お年寄りから竹馬や竹とんぼ、お手玉などの作り方を習い、でき上がった竹馬に挑戦するなど歓声を上げていました。



全九州パワーリフティング

日本高校新記録で優勝

伊万里商業高校3年の前田優子さんが、10月12日の第26回全九州パワーリフティング選手権大会で、日本高校新記録を出し優勝しました。この競技は、スクワット（立つ力）ベンチプレス（押す力）デッドリフト（引く力）の3種目で競うもので、

女子60kg級に出場し合計350kgをマーク。昨年の夏、部活（柔道）のトレーニングのために、仲間4人と始めたばかりですが、11月30日の佐賀県大会では、先の記録を20kgも上回る計370kgを持ち上げ、次々に記録を塗り替えています。



四季の詩

満々と月映えるまで若井汲む

船屋町 中島 不識洞

人間は喜怒哀楽もらながら

きびしき山々渡りゆくなり

二里町川東 松本 伝



エビと山芋のからみ揚げ



(料理の調理法)



材料 (4人分)

えび	400	g
山芋	150	g
白ねぎ	1	本
しょうが	少	々
ししとう	8	コ
マヨネーズ	大	さじ2
塩	少	々
片栗粉	1/2	カップ
甘酢	大	さじ5
砂糖	大	さじ1
しょうゆ	少	々

作り方

- ① えびの皮と背わたをとり塩をする。
- ② 山芋をすりおろす。
- ③ えびをカッターにかける (少し形が残る程度に)
- ④ エビ、山芋、白ねぎのきざんだものとしょうがも小さくきざみ、マヨネーズもいっしょに混ぜ合わせる。
- ⑤ まるめて片栗粉をまぶし、油で揚げる。ししとうも揚げる。
- ⑥ 甘酢をあわせる。

料理の紹介者

(松浦町梅岩)
副島 郁子さん



お正月の酒のさかなにいかがでしょうか。食生活改善推進員として、貧血や肥満、高血圧、ガン予防などに務めています。地域の推進員とともに、健全な食生活をと心を配っています。

このコーナーで紹介する料理を募集します。わが家の定番料理や郷土料理、季節の料理、ちょっと珍しい料理などなんでもOK。あるいは「近所でおいしい料理を作る人がいる」などという情報でもかまいません。どしどしご応募ください。紙面に登場した人には、もれなくオリジナルテレホンカードを差し上げます。
●問合先 市秘書課広報係 (☎③2111内線207)

わが家のアルバム

ながそえみき
永添美希ちゃん(3歳)

★洋吉・真理子さんの次女
★東山代町長浜



元気いっぱいのお美希ちゃんは毎日、自転車に乗って散歩するのが大好き。国見団地のおばあちゃんたちのアイドルです。「おひとつ、どうぞ」とお父さんにビールをついであげます。大人の会話が得意なのよ。



生まれてすぐ、体重がなかなか増えずに心配したけど、今では元気いっぱいです。明るくみんなに好かれる人になってね。

ほほえみさん

くほゆめか
久保夢香さん(20歳)

★富士町
★かに座・A型



夏秋医院で事務をしている夢香さん。勤務して1年が経過しました。患者さんの受け付けをしたり、薬を渡したりしています。循環器内科なので、最近かぜの患者さんが多いそうです。趣味は、カラオケ。週1回のペースでマイクを握り、大きな声で歌っています。また、夏に開催された医師会の親睦ソフトボール大会で、ホームランを打ちました。今でも職場で伝説のように語られています。
「今年は、水泳を始めたいし、将来のために料理も習いたい」と笑顔で話してくれました。

満員の音楽ファンを魅了 手づくりの「市民音楽祭」



音楽愛好家が練習の成果を披露する「市民音楽祭～ふるさと伊万里を歌う会～」が11月30日、市民センターで開かれ、満員の音楽ファンを魅了しました。



この音楽祭は、伊万里の歴史やロマンそして未来への希望を歌った「伊万里讃歌」を多くの人に親しんでもらおうと市民手作りの演奏会として始まり、今回で5回目です。小学生から大人まで個人やグループなど21団体560人が参加し、年々盛り上がっています。第1部では、合唱やピアノの連弾、バンド演奏さらには中学生最後の思い出にと3年生5人の器楽演奏などいろいろなジャンルの音楽を楽しみました。第2部では、今回新たに結成された「交響詩伊万里を歌う会」や伊万里少年少女合唱団、婦人会を中心とした4つの「伊万里讃歌を歌う会」がふるさとの歌を熱唱しました。

みんなで
考えよう
同和教育
No.114

このコーナーは、隔月のシリーズで掲載
しています。これを手がかりに、家庭で
同和教育について話し合ってみましょう。

明るい社会を目指して⑤

公正採用を願って

まもなく、フレッシュマンの
入社のシーズンを迎えますが、
今回は就職活動で経験する採用
選考について考えてみたいと思
います。

労働省・文部省・全国高等学
校校長会は、高校生が就職活動
で使用する「全国高等学校統一
応募書類」を平成8年度にもさ
らに改定し、応募者の適性と能

力に基づいた差別のない公正な
採用選考が行われるよう、事業
主に理解と協力を求め、統一応
募書類を必ず使用するよう呼び
かけを行っています。従来の応
募書類から「本籍」「保護者と
本人との続柄」に関する項目等
が削除されました。これは、採
用選考に必要とは考えられない
ためであり、出身地や家柄等に
よって差別されない憲法の精神
によるものです。面接の際にも
応募者の適性能力を判断するた
めだけの質問が行われ「お父さ
んの勤務先はどこですか。会社

での役職は」「お父さんがいな
いようすがどうしたのですか」
「あなたの家族の収入はどれく
らいですか」といった、応募者
本人には直接関係のない質問は
問われないことになっています。
中学生や大学生、社会人の就職
活動についても同様で、その趣
旨はいかされています。現在で
は、ほとんどの企業が趣旨を理
解し、応募者の基本的人権が尊
重される公正な採用選考が行わ
れています。全国的にはまだ
まだという指摘もあります。
市民一人ひとりが人権意識を
さらに高め、就職差別のない明
るい社会を一日も早く実現しま
しょう。(市社会教育指導員)

郷土の文化財

伊万里市の歴史

伊万里市の古代・中世

〔松浦党の時代・肥前のやきもの文化のはじまり〕

松浦党の時代は、平
安時代(794～11
91年)の後期に今福
(松浦市)に嵯峨天皇
の子孫といわれる源久
が宇野御厨という荘園
の長官としてやってき
たことにはじまるとい
われます。

松浦党は、源久を共
通の祖先とおおぐ武士
のあつまりです。

東山代町川内野地区
の山寺に松浦党が祖
先をまつる宗廟があっ
たとされています。

昭和56年(1981)と昭和
57年(1982)に山寺遺跡
の発掘調査が行われ、約600
年前と約400年前の中国や朝
鮮半島や東南アジアの陶磁器の
かけらがみつかりました。

西北九州を地盤に東アジアで
活躍した松浦党が交易によつて
持ち込んだと思われる遺物です。

松浦党の時代は、文禄2年(1
593)に上松浦の党首波多三

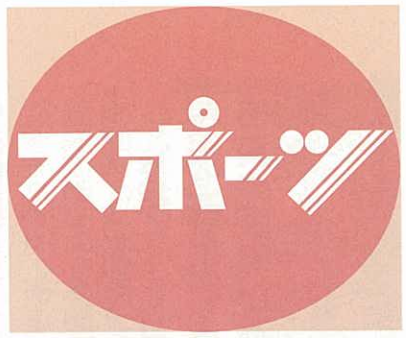


中国の陶磁器のかけら

河守親の岸岳城(北波多村)
が豊臣秀吉によつて滅ぼされ
るまで続きました。

ちなみに唐津焼は16世紀
後半に朝鮮半島からきた陶工
たちによつて、波多氏の保護
のもとに岸岳周辺で焼きはじ
められたといわれています。

松浦党は伊万里市を含む肥
前のやきもの文化の始まりに
も大きくかかわっています。



1月の町民スポーツ

- 1日(日)
 ●牧島新春歩こう走ろう会
 8時開会 牧島公民館周辺
 ●大川内町新春走ろう会
 8時開会 大川内公民館周辺
 ●大川町新春走ろう会
 8時開会 大川運動広場
 ●東山代町新春走ろう歩こう会
 8時50分開会 東山代町内
- 11日(水)
 ●二里町子ども会卓球大会
 8時半開会 国見台体育館
- 2月1日(日)
 ●大坪地区卓球大会
 8時半開会 国見台体育館
 ●山代町子連卓球大会
 8時開会 山代公民館
- 2月8日(日)
 ●東山代町民卓球大会
 8時半開会 滝野小学校体育館
 ●山代町民卓球大会
 8時半開会 山代公民館

市内一周駅伝大会

大坪チーム 念願の初優勝

今回で44回目を迎えた市内12町(地区)対抗の伊万里市内一周駅伝大会が、11月30日に開かれました。この大会は、スポー

ツの普及振興を図るとともに市を代表する長距離選手の育成を目的としています。

選手たちは、山代町浦之崎駅前を8時45分にスタート。途中相生橋など3か所の中継地点で再スタートし、市内を一周して市役所前のゴールを目指しました。全行程は63・2キです。高校生や女性を含む12人でたすきをつなぎ健脚を競いました。

レースは、大坪チームが5つの区間賞を取るなど安定した力を発揮し、念願の初優勝を飾りました。また、伊万里チームが昨年のタイムを11分39秒縮めて躍進賞を獲得しました。

《チーム成績》
 優勝 大坪(3時間36分21秒)
 2位 二里(3時間37分18秒)



- 3位 東山代(3時間40分22秒)
 ④松浦 ⑤南波多 ⑥黒川
 ⑦山代 ⑧波多津 ⑨大川
 ⑩伊万里 ⑪牧島 ⑫大川内
- 《区間賞》(新・区間新記録)
 1区 川原 国男(大坪)
 2区 原 哲郎(大坪)
 3区 大宅 弘幸(二里)
 4区 高木加那子(東山代) 新
 5区 川島光一郎(松浦)
 6区 山浦 晃(東山代)
 7区 平山 正(大坪)
 8区 岩本 瑞樹(東山代)
 9区 山田 直樹(東山代)
 10区 川原 敏裕(二里)
 11区 山口 宏(大坪) 新
 12区 津上 直三(大坪)

名村カップ'97

伊万里ジュニア駅伝

小学4年生以上を対象とした伊万里ジュニア駅伝が、12月7日に国見台公園周辺コースで開かれました。ロードレースと駅伝競走があり、市内外から約500人が出場。児童たちは、小雨のなかを力走しました。市内の上位入賞は次のとおりです。

- 【駅伝の部】▽男子(6区間9キ、市内の部)①黒川小A ②東山代小 ③立花小A ▽女子(5区間7キ)①東山代小
 【ロードレースの部】▽男子(2キ)①丸尾洋平(大川少年野球) ▽女子(1・7キ)②松尾未希(東山代小) ③原口悦子(立花ジュニア)



伊万里市・西松浦郡職域剣道大会

第22回職域剣道大会が、11月30日に国見台武道館で開かれました。団体戦と個人戦があり、職場や地域から一般社会人90人が参加しました。

- 【団体の部】①赤錬会 ②水曜会 ③伊万里市役所
 【個人の部】▽3段以下 ①松本竜治(赤錬会) ②川浪隆博(信用金庫) ▽3段以上
 ①田中一誠(赤錬会) ②古賀裕一郎(伊万里教職員)





告知コーナー くらしのチャンネル

お知らせ

ご相談ください 無料特設人権相談

人権、相続、不動産、借地借家、金銭貸借、家庭などの問題について相談に応じます。

●日 時 1月19日(月)

午前10時～午後3時

●会 場 東山代公民館

●相談担当者

人権擁護委員 石丸澄江さん

法務局職員 脇山雅子さん

●問合せ 市民相談室

(☎232111内線226)

年金の「現況届」1月から 市長の証明が不要に

年金を受給されている人には、毎年誕生月の初めに、社会保険業務センターから「現況届」の

健康なまちづくり推進大会

「いつまでも、若く、楽しく、明るく」

と き 2月1日(日)
午後1時半～

と ころ 市民会館

特別講演

講師：正司歌江さん

※中国古楽器演奏など

入場は無料(入場整理券を保健センターまたは各公民館にお申し出ください)

●問合せ 保健センター(☎23916)



ハガキが送られてきます。その「届」に平成10年1月から(1月生まれの人から)市長の証明が不要になりました。なお、提出の際には、ご自分で住所、氏名を記入してください。

企画展「ザ・発掘」 記念講演会

歴史民俗資料館企画展「ザ・発掘」の記念講演会を行います。

●日 時 1月18日(日)

午後1時半～3時

●会 場 中央公民館

●演 題

「骨の話」～古人骨から日本人のルーツを探る

●講師 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム

館長 松下孝幸さん

●入場料 無料

●問合せ 市歴史民俗資料館

(☎227107)

消防団出初め式

災害のない安全なまちづくりを目指し、年の初めに伊万里市消防団出初め式を行います。

●日 時 1月11日(日)
午前9時～

●会 場 市民会館

※午前11時15分から伊万里川河川敷(相生橋の上流付近)で一斉放水をします。市民の皆さん、ご参観ください。

口座振替済通知方法 の一部変更について

次のとおり口座振替済通知方法の一部を変更します。

●変更時期 平成10年2月から

●変更内容 データ伝送システム処理(オンラインによる指定期日即時振込)による公金支払の場合、いままでの「口座振替通知書」の送付に代えて、債権者の通帳に取り扱い担当課および支払い金額を記載します。なお、従来の文書処理による公金支払いは、いままでどおり「口座振替通知書」を送付します。

●問合せ 市会計課

(☎232111内線241)

「えびす祭」

新春恒例の「えびす祭」が1月15日の成人の日に市街地を中

伊万里港貿易概況

平成9年11月分

輸出：輸出額は35億6200万円。パナマへ船舶34億1100万円。パキスタンへエアヒーターエレメント5000万円。鉄のスクラップ、アルミ基板、磁器製食卓用品などを輸出。

輸入：輸入額は18億3900万円。原木は4億6500万円。パプアニューギニア(9900万円) カメルーン(9100万円) アメリカ、ガボン、赤道ギニア共和国から。合板は6億3600万円。インドネシア(4億9800万円) マレーシア(1億3900万円) から。液化石油ガスは3億9400万円。アラブ首長国連邦(3億2400万円) サウジアラビアから。飼料のフィッシュミール5400万円。家具類6100万円。そのほか稲わらや冷凍魚、冷凍すり身などを輸入。

唐津税関支署伊万里出張所発表

心に開かれます。七福神パレードや活鯛が当たる福運抽選会、えびすラリー、ロードレースなど楽しいイベントがあります。また、おでんやあめ湯の無料コーナーもあります。

七福神パレード

●時 間 10時半～11時40分

●コース 伊万里神社↓駅通り

↓アーケード

●活鯛が当たる福運抽選会

●時 間 12時～15時半

●会 場 いすい通りパーキング

●えびすラリー
●受付 親和銀行前12時～
●参加 1チーム2人で小学4年生以下は保護者同伴。
●参加費 無料



※福運券(500円)はエルタウン伊万里の各店で

●問合せ メンズ206(☎7631) 桔梗屋(☎7194)

●スタート・ゴール 駅通り

●受付 9時～10時

小学生男子の部 2時10分～25分

小学生女子の部 2時10分～25分

中学生男子の部 5時10分～55分

40歳以上の部 5時10分～55分

女子の部 3時10分～55分

一般の部 10時11分～20分

高校の部 10時11分～20分

●問合せ 駅通り商店街振興組合事務局(☎235166)

チャンチャン劇団

手作りパザールも同時に行います。

●日 時 1月11日(日)

午後1時開演

●入場料 大人500円 小人300円

●会 場 市民センター

●問合せ チャンチャン劇団伊万里公演実行委員会(☎25083)

1月の行事

市民センター ☎ 23911

- 11日(日) チャンチャン劇団
13時 大人500円 小人300円
- 18日(日) 新春こころのセミナー'98
14時 1998円
- 25日(日) 九州交響楽団ニューイヤ
コンサート 15時
(前売)大人3000円 学生2000円

市民会館 (問合先:市民センター)

- 11日(日) 市消防団出初め式
9時 関係者
- 15日(木) 市成人式 9時半 関係者

市民図書館 ☎ 234646

- 4日(日) 子映「恐竜大行進」
14時半 無料
 - 7日(水) 子映「グレート・マジガー」
14時半 無料
 - 11日(日) 一映「スピード」
14時半 無料
 - 子映「ピーターラビット」
11時・14時半 無料
 - 13日(火) 一映「それから」
講演会終了後 無料
 - 18日(日) 一映「タワーリング・イン
フェルノ」 14時 無料
 - 子映「エリック・カールコ
レクション」 11時・14時半 無料
 - 22日(木) 一映「タワーリング・イン
フェルノ」 14時 無料
 - 29日(木) 一映「スピード」
14時半 無料
 - 2月1日(日) 子映「スノーマン」
11時・14時半 無料
 - 2月8日(日) 子映「キキとララの
はばたけ! ベガサス」
11時・14時半 無料
- ※毎週土曜日 おはなし会
14時半 無料
※都合により上映時間の変更あり。

市民相談

☎ 23111 (内線226)

会場:市民相談室 時間:10時~15時
無料・秘密厳守

- 法律 (木) 8.14(水)
- 社会保険 (金) 9.16.23.30
- 交通事故 (火) 13.27
- 行政 (水) 21
- 人権 (火) 6.20
- 身障者 (月) 26
- 消費生活 (月) 5.12.19.26
- 女性就業 (水) 7.14.21.28
- 心配ごと (木) 8.22.29

- 土地建物相談…毎月第1月曜日
13時~16時 会場 市民相談室
- 住宅相談…毎月第3木曜日
13時~16時 会場 商工会館
- ボランティア相談…毎週月曜日
10時~15時 会場 市民ロビー

カルチャー入門講座 「男の料理教室」

市民センターは、カルチャー入門講座「男の料理教室」を行います。ご参加ください。

- 対象者 市内と市内近郊の人
- 定員 20人
- 開講日時 2月~3月の毎週月曜日(8回)、午後6時~8時
- 会場 市民センター
- 受講料 2か月で3000円

(材料費別途)

- 申込期限 1月28日(水)
- 申込・問合先 市民センター
(☎23911)

さわやかスポレク 伊万里'98の参加者

- 期日 3月1日(日)
- 会場 国見台運動公園
- 種目 グラウンドゴルフ、ペタンク、ソフトバレーボール

ミニサッカー、インディアカ
●申込期限 2月13日(金)
●参加費 無料
●問合先 市体育保健課
(☎23111内線464)

または各町公民館まで
※小学生以上の市民ならどなたでも参加できます。

太極拳教室

太極拳を楽しみながら健康づくりをしませんか。

- 対象 市内の一般男女
- 定員 30人
- 会場 市民センター
- 日時 2月3日~27日の毎週火・金曜日、午後7時~9時
- 参加費 1000円
(スポーツ障害保険料として)
- 申込期限 1月23日(金)
- 申込・問合先 市体育保健課

※参加料を添え申し込むこと
(☎23111内線464)

中国帰国者のための 身元引受人や通訳など

厚生省や県は、日本語や日本の生活習慣を十分知らない中国帰国者が日本社会へ円滑に定着し自立するために、さまざまな世話をする身元引受人や自立指導員、自立支援通訳を募集しています。

- 問合先 県福祉保健部福祉課
(☎09527058)

伊万里歴史探訪 ツアー参加者

- コース 市民会館出発→歴史民俗資料館「ザ・発掘」→土井頭遺跡→午戻遺跡→夏崎古墳→小島古墳→白蛇山岩陰遺跡ほか
- 対象 小学生以上の市民45人
- 日時 2月8日(日)
午前9時~午後5時

軟式野球の登録を 受け付けます

市軟式野球連盟は、平成10年度のチーム登録を受け付けます。(登録申請書は事務局に準備)

- 申込期限 1月30日(金)
- 申込・問合先 事務局の灰崎まで(市農村整備課)
(☎23111内線362)

アジア空間Saga 佐賀とアジアの1か月

アジアに関する理解を深めようと1月15日から1か月間をアジア空間Sagaとして、さまざま

さまざまな事業が行われます。伊万里地区での催しは次のとおりです。

- 会場 市民センター
- 期日 1月31日(土)
- ▽ミヤンマーを知る講座10時~12時
- ▽チャリティーバザー 12時~
- ▽中国映画「變臉」の上映
—この権に 手をそえて—
(午後2時・6時2回上映)

- 期日 2月10日(火)
- ▽日韓交流音楽の夕べ 18時~
- 問合先 市国際交流室
(☎23111内線496)

伊万里DEトークサロン

- 日時 1月31日(土)
午後6時~8時
- 会場 市民センター
- テーマ 探しませんか、あなたと私のできること
- ゲスト 平田トシ子さん
- 問合先 アバンセ
(☎095220011)



故郷・伊万里から遠く離れた都会などで
仕事に頑張っている伊万里出身者がおら
れます。また伊万里という語感が好きで、
これを店名にされているお店も数多くあ
ります。
このコーナーでは伊万里と縁が深いみ
なさんのお便りを紹介します。

『伊万里を想う』

姫路市南駅前町125 (新幹線10番街)

ギャラリー伊万里 石井 郁也さん

伊万里、古伊万里、上品で少しすま
した響きがある。焼き物から伊万里と
いう言葉を知ったからだろうか。白地
の上に呉須で描かれた、細いつる草、
小さな花を咲かせている文様、私たち
夫婦が心引かれた焼き物である。もう



奥さんの秀子さん(左)と友人の同前さん(右)

私の住んでいる街にも生命力の強い
ものがある。先年、世界文化遺
産に登録された「姫路城」。別
名白鷺城ともいう。姫路にも世
界に通用するものがあることは、
認識を新たにしている。数百年
前から世界ブランドとして君臨
している古伊万里。理由もなく
好きである。幸せなことに、私
の心には白鷺城と古伊万里の2
つの故郷がある。
いつの日か、当地においての
節は、私の故郷を案内したく
思います。「イマリ」この響き
に、重さと、また安らぎを感じ
られている方々に、幸多くあり
ますようお願いしつつ筆をおくこと
とします。

石井郁也さんの友人に中国陶磁研究
家の三杉隆敏さんがいらっしゃいます。
三杉さんからもお便りをいただきました。
たのでご紹介いたします。三杉さんの著書
に「世界染付」(全6巻、同朋出版)
「やまもの文化史」(吉波新書)など。

『ギャラリー伊万里のことなど』

小原流芸術参考館 (神戸市東灘区)

副館長 三杉隆敏さん

染付が特に好きな仲間が幾人かいる。
お互いに約束もないのに、それほど
の用件もないのに、急に思い立つと連絡
し合って時々集まる。どうも私には、
あの伊万里焼がみんなに呼び出しをか
けているような気がする。

焼き物には、壺、皿、鉢、碗、杯な
どいろいろあるが、あの少し冷たい磁
器の肌、白地に筆で描かれた染付
文様に、私は心を引かれる。花もあれ
ば鳥もある。松・竹・梅などお正月が
近くなると、これはちょうど良い、新
年に使おうと思ったりする。単なる筆
描きによる直線の組み合わせでしか
ないのに千変万化、格調のあるもの、親
しみやすいもの。カーブを持った線の
組み合わせの唐草文、その上に施され
たぶつぷつのあるのを蛸唐草と呼ぶ。
また、その曲線に添ってたくさんの小
さな葉がぐるりと器面全体にばらま
かれたかのごとく描かれているのを、誰
いうとなくみじん唐草と呼んでいる。
実はこのギャラリーのご主人・石井
さんは、かなり長い年月をかけての立
派なみじん唐草のコレクターである。

今月の焼物

福寿繫文皿 (色絵素地)

見込みを白抜きにし、周辺にはデフォルメ
した福寿の三対の文字を墨弾き技法により白
抜きしている。それを六角形に配置し、二種
類の唐花文でつないでいる。この尺皿は本来
色絵として作られたが、染付の段階で高台部
分が壊れたため、色絵を施されず残った稀な
例である。彩色する範囲には薄い染付線によ
る下絵が描かれている。厳しい管理のもと割
られずに現存していることは、この作品が作
られたころの藩窯体制の変質の現れか。

編集室から

12月14日の出来事。毎年この日は、大坪町
古賀地区で「つうわたし」が行われている。
今岳大権現さんの分霊を引き渡す行事で、わ
たしもカメラを持って取材に出かけた。
午後5時ごろ営所と呼ばれる家に行くと、
酒宴の真っ最中。その後、役割に応じて衣装
を身に着け、それぞれの顔に墨を塗り始めた。
そして、最後はわたしの顔も真っ黒に。
笑顔が絶えないお祭りだった。今では、こ
ういう祭りが引き継がれているところは少ない。
神様を祭るといっても、地区住民の融和を
目的とした行事だと思ふ。
今年も寅年、いい年になるように。(N)

人のうごき

平成9年12月1日現在			
●人口	59,955人	(+ 3)	(8) 5)
●男	28,429人	(+ 1)	(8) 5)
●女	31,526人	(- 1)	(8) 5)
●世帯	18,436世帯	(+ 2)	() は前月比

広報 伊万里 1998-1

発行日/平成10年1月1日
発行編集/伊万里市役所秘書課広報係
(0955)23-2111
〒848佐賀県伊万里市立花台1-1-1
印刷/有限会社 中央印刷



この用紙は、再生紙を使用しています。(古紙配合率60%)